

難民支援 NGO “Dream for Children” 2013 年度活動報告書



目次

| | |
|----------------------|----|
| ご挨拶 | 2 |
| 現在のチベットの状況 | 3 |
| 現在のビルマの状況 | 5 |
| 2013年度の活動 | 7 |
| 2013年度会計 | 11 |
| 付録：チベット難民の生徒がつくった夢の旗 | 12 |

ご挨拶

会員の皆様には平素より格別のご支援をいただきまして、ありがとうございます。

昨年度、アメリカの高校生の一団が、インドのダラムサラにあるチベット難民の学校を訪れました。彼らは、難民の人たちに英語を教えるかわり、現地でインタビュー等を行い、チベットの問題、難民が置かれている状況について学んでいきました。

ダラムサラには様々な国の人がありますが、その中で、日本人はこのような問題に対する意識があまり高くないように感じます。日本が平和過ぎることもあるのか、例えば、チベット人の焼身自殺や拷問が、日本人にはイメージしにくいのかもしれません。また、チベット難民が政治難民であるがゆえに、問題を根本から理解するには政治的な部分にも踏み込まねばならず、敷居が高い面もあるのかもしれません。状況がよくなりつつビルマも状況は似ており、難民は多くが政治難民です。

チベット難民もビルマ難民も難しい状況に置かれていますが、彼らに落ち度があって厳しい暮らしを余儀なくされているわけではありません。その民族に生まれたが故に、弾圧を受けている、そのような状況です。たまたま幸せな民族に生まれた日本人は、彼らについてもっと知る必要があるのではないのでしょうか。

難しい問題ではありますが、日本での認知度をあげるべく、皆様にもより一層の情報拡散を行っていただけますと幸いです。

代表 亀田浩史

現在のチベットの状況

チベット本土は、依然として、厳しい状況が続いています。

【続く焼身自殺】

2011年から急増している焼身自殺が2013年度も続きました。2013年度は、チベット本土で、15人もの人の体が炎に包まれました。これまでの焼身自殺者の累計は100人を超えています。チベット人の人口が600万人ほどであることを考えると、この数は異常です。彼らは、チベットの自由とダライ・ラマ14世のチベットへの帰還を求めて、炎に包まれました。

【焼身自殺に関係した死刑判決】

中国当局は、焼身自殺に対する取り締まりを強めており、焼身自殺に関与したとして2人のチベット人に死刑判決を下しました。

1人は焼身自殺をそそのかしたとされています。

もう1人は焼身自殺を遂げたチベット人女性の夫です。この夫に対し、中国当局は「妻の焼身自殺の原因が中国政府への抗議ではなく、家庭内の問題だと認めれば現金を渡す」と持ちかけましたが、彼はこれを拒否し、これが原因で死刑判決を受けました。

このような状況を受け、国連のチベット介入を求めるイベントをチベット難民が行いましたが、国連は具体的な行動を取っていません。

【チベット難民暗殺のためチベット難民街へ送り込まれたスパイ】

2013年5月、チベット難民が暮らすインドのダラムサラでチベット人スパイが逮捕されました。チベット難民2人の毒殺を企てたためです。このスパイは、ネパールで中国政府の役人と接触し、毒殺の対価として400万円相当を受け取っていたようです。

【チベット難民街を狙うテロ組織】

2013年夏、インドのダラムサラで、イスラム系テロ組織インディアン・ムジヤヒディーンがテロを計画していることをインド政府が察知し、警備を強化し

ています。インディアン・ムジャヒディーンは仏教徒を標的にしています。彼らは、仏教徒の多いビルマで、イスラム系のロヒンギャ人の境遇がよくないことを根に持っており、国籍を問わず、仏教徒を標的にしているようです。

テロの懸念が拭えないことから、ダライ・ラマのティーチングの通訳の声を聞くためのラジオが持ち込み禁止になるなどの影響が出ています。

【広がるサイバー攻撃】

2013年8月、チベット亡命政権のウェブサイトがハッカーによる攻撃を受け、コンピュータウィルスが埋め込まれました。

この事件と因果関係があるかは不明ですが、同時期、ダラムサラの街ではコンピュータウィルスが蔓延しました。このウィルスに感染すると、目的のフォルダにアクセスできなくなり、その代わりに、デスクトップにフォルダへのショートカットがつけられます。このショートカットをクリックすると目的のフォルダにはアクセスできますが、クリックした瞬間にトロイの木馬が作動します。トロイの木馬に感染した場合、PC上での作業が攻撃者に筒抜けになってしまいます。

インターネットカフェでもウィルスが蔓延しているので、外国人も注意が必要です。



2013年、チベットの平和を祈って、インドのダラムサラで、ハンガーストライキをしていた女性。彼女の息子は、チベットの平和を求めて、インドからチベットへ行進を行っていたが、インド・チベット境で突如として姿を消し、行方不明に。

現在のビルマの状況

我々の直接の支援先であるビルマ東部では大きな事件はなく小康状態ですが、ビルマ北部・西部を中心に情勢は不安定です。そのため、難民の人たちが今すぐ安全に帰国できるとは言えない状況です。

【大規模恩赦】

政府に抗議したなどとして投獄されていた政治犯への大規模恩赦がありました。政府発表では、獄中には政治犯は残っていないことになっています。しかし、一般犯罪で裁かれている事実上の政治犯は今なお獄中に残されています。

【仏教徒とイスラム教徒の衝突】

西部のラカイン州で、仏教徒とイスラム教徒の衝突が続いています。現地では国連や NGO も支援活動をしていますが、イスラム教徒のロヒンギャ人が置かれている状況が悪いことから、支援がロヒンギャ人寄りになっています。このような状況が原因で、2014年3月に、仏教徒が国連や NGO を襲撃する事件が起きました。

【停戦協定進まぬカチン州】

北部のカチン州では、政府軍とカチン人軍の戦闘がときおり起きており、停戦協定はなかなか進みません。

【アウンサンスーチー来日】

2013年4月にアウンサンスーチーが27年ぶりに来日し、安倍総理らと会談を行いました。東京大学での講演では、法による統治の重要性を説く一方で、「長きにわたる民族問題の解決は容易ではない」と述べました。

【憲法改正は？】

ビルマでは、2015年に大統領選が控えています。しかし、当時の軍事政権が起草した現行憲法下では、外国籍の子供がいるアウンサンスーチーは大統領選には立候補できません。また、議会の4分の1の議席は、選挙前から軍人によって占められることになっています。現在、ビルマ政府は文民の政府になっていますが、大統領が元軍人ということもあり、憲法改正への道のりは遠そうです。



タイで暮らすビルマ難民。彼らが今すぐ安全に帰国できるかはわからない。

2013年度の活動

| | 国内の活動 | 現地の活動 |
|-----|---|---|
| 4月 | | |
| 5月 | | インドのチベット難民街での支援活動 ・物資支援 ・英語教育 ・コンピュータ教育 ・その他就職対策教育 ・現地調査 |
| 6月 | | |
| 7月 | | |
| 8月 | | |
| 9月 | | |
| 10月 | ・ワールドコラボフェスタ出展（名古屋） | |
| 11月 | ・チャリティ英語セミナー（名古屋） | |
| 12月 | ・Hand in Hand みえの地球市民出展（津） ・国際協力セミナー「ヒマラヤを越えたチベット難民が暮らす街を訪ねて」（名古屋） | |
| 1月 | | |
| 2月 | | |
| 3月 | ・国際協力セミナー「今あなたに届けたいチベット難民からのメッセージ」（名古屋） | |

国内の活動

国内では難民問題の啓発活動に重点を置いて活動を継続しています。

【出版】

現在、最近インドに亡命したチベット人の貴重な声をまとめた書籍の出版準備を行っています。2014 年中に出版予定です。

【講演会、展示会】

2013 年度は 2 回のセミナーと、2 回の展示会への出展を行いました。セミナーでは現地で行った難民へのインタビューを交えながら、ホットな情報を提供しています。これまで講演会参加者の 94 %の方に、「非常に満足」、「満足」とご回答いただきました。

また、展示会では、チャリティ似顔絵、占いや新規のフェアトレード品の販売なども行いました。

【ブログでの啓発活動】

現地メディアのニュースのうち日本のメディアが取り上げない情報を中心に、ブログで情報拡散を続けています。ブログのアクセス数も 150 万を突破し、多くの方に見ていただけるようになってきました。

【国際人養成事業：名古屋英語特訓道場】

国際的に活躍できる人材の育成を目的として、開始した名古屋 TOEIC 道場ですが、2014 年 4 月から名古屋英語特訓道場と改称し、学生向けにも対象を拡大予定です。学生向けコースでは、単に英語ができるだけでなく、国際問題に興味を持ち、論理的に考え、行動できる人の育成を目指しています。

また、2013 年度は、チャリティセミナーも実施しました。

現地の活動

ビルマ東部と比較してチベット情勢が著しく悪いため、2013年度もインドのチベット難民街で集中的に活動を行いました。

【物資支援】

文具、衣類、英語に翻訳した日本語の絵本を、チベット難民の子供たちが暮らすチベット子供村へお届けしました。チベット子供村の複数の校舎の中でも状況が悪い、標高4,000メートルの高地にあるスムドに優先的に物資を届けました。チベット難民が住む町として最も知名度が高いダラムサラは物が足りない状況は脱していますが、他の難民街では物資が不足しているところもまだあります。

【チベット難民の学校】

言葉の問題で就職が難しい大人のチベット難民への英語教育を継続しています。呑み込みが速い人の場合、2か月程度勉強すれば、仕事に仕えるレベルの英語力になります。

また、放課後の空き教室を使って、過去に不当投獄・拷問を受けたチベット人の話を聞く場を設け、外国人向けに啓発活動を行っています。

[学校のトピック1: コンピュータ教育]

コンピュータの提供を申し出てくれた人物が消息不明となったため、当初そ想定していた規模の教育はできず、学校のスタッフ向けにしぼって教育を行いました。チベット関連サイトへのサイバー攻撃、街でのコンピュータウィルス氾濫が起きていた状況であったため、主にセキュリティに関する教育を実施しました。

[学校のトピック2: その他就職対策教育]

インドでもそれなりの職にありつくには、履歴書の提出が必要で、面接も課せられます。しかし、チベット難民はこれらの経験がほとんどありません。このような状況から、履歴書・就職面接の対策教育を行いました。

[学校のトピック 3: 医療教育]

健康に関する教育を実施しましたが、チベット難民はあまり興味がないようでした。健康な人にとっては、職にありつぐための英語・コンピュータの勉強の方が優先度が高いのかもしれませんが。

[学校のトピック 4: アメリカの高校生の訪問]

アメリカのグローバル・リーダーシップ・プログラムの高校生がチベット難民の学校を2週間訪れ、チベットの問題について学んでいきました。

[学校のトピック 5: 夢の旗づくり]

チベットで伝統的に使われる5色の旗に、生徒たちが自分の夢を書きました。旗の一部は、本報告書の付録に掲載しています。

【聞き取り調査】

難民の方への聞き取り調査を続けていますが、チベット・ネパール境の警備が厳しい状況が続いており、新たな難民の数が激減しています。最新のチベットの状況を新たな亡命者から聞くのが非常に難しくなっています。



チベット難民の生徒に英語を教えるグローバル・リーダーシップ・プログラムの高校生

2013 年度会計

単位 [円]

| | |
|------------|-------------|
| 前年度繰越 | ▲ 431, 417 |
| 収入 | |
| 事業収入 | 948, 075 |
| 会費収入 | 85, 000 |
| 助成金 | 300, 000 |
| 寄付（一般寄付） | 5 |
| 寄付（現地支援寄付） | 41, 610 |
| 計 | 1, 374, 690 |
| 支出 | |
| 啓発事業費 | 192, 115 |
| 海外事業費 | 227, 534 |
| 国際人養成事業費 | 108, 126 |
| 現地への寄付 | 146, 432 |
| 旅費・交通費 | 221, 191 |
| 管理費 | 529, 514 |
| 広告費 | 8, 693 |
| 印刷費 | 38, 066 |
| 送料 | 20, 780 |
| 計 | 1, 492, 451 |
| 今年度収支 | ▲ 117, 761 |
| 次年度繰越 | ▲ 549, 178 |

【付録：チベット難民の生徒がつくった夢の旗】



